

# 常照寺弘報

発行所

宇都宮市中央3-11-13

宇陽山常照寺

028-634-4205

発行人 教務部

## 12月号

- 日宇上人御七回忌・報恩教化成就
- 年末年始のご奉公成就・無事越年
- 本山初灯明料・全信徒随喜奉納

### 日晨上人要語録より

#### 信心の深さ

#### 佛立第十五世講有

田中日晨

信心には深さがあります。大正十二年の関東大震災に東京の下町で家財いっさいを焼失した信者が、「私は罹災前の信心が上すべりの浅薄なものであったことを、この頃ようやく悟りました。今度の災害で苦勞したおかげで、従来とは違うモット深い信心がつかめたようでありがたいのです」と涙を浮かべて話していたのを今でも覚えています。このようなことは、信者の大半は経験ずみと思えますが、信者は何かの動機で、その深さに目覚めると、今までとはガラリと変わった信心の意味がわかり、御利益に對しても別個のものを感得することがあります。

日頃御指南を通じて承れる先師上人の信心の喜びに比べ、私どものはかなりへだたりがあり、俗臭プンプンで情けない

ときがあります。みな、信心の浅深による相違と思われれます。

ぜび、浅きより深きに至る努力をして、宝の山に入つて手をむなしゆうして帰る愚をしないようにしたいものです。

では「深さ」を知るにはどうするか。それは教えを求むる熱意いかによります。読経の心得には、「正しく経を聞き、之を誦すること、その声高からず低からず、異曲の音を出さず、一心専念に之を誦し奉りて、一一の文字皆仏身なることを観念すべし」とあります。御経文の文字一つ一つを仏と思つて、おろそかにしないでその意味を味解せよというのですから、真剣そのものです。

先輩に教えを乞う場合でも、その人に接近する工夫をし、その人のために尽くして愛され信用されねば、ほんとうにその人から教えられるところまでまいらぬものです。それだけの忍耐力が必要です。次は即聞即行で、御指南を身に引き当てて工夫することです。

この実行する工夫を怠ると、いくら聞いても、読んでも何にもなません。あるいはグ

ループごとの輪読会も可、暗誦につとめるもよし、現代との関連を考えるのもよいでしょう。

教化運動のご奉公も、氣の入れ方で信心を深める効果は絶大です。末代の凡夫だからと他力ばかりにすがって、自らの求道心を燃え上がらせないと、十年たつても、二十年たつても信心の深さが味わえないでしょう。

佛立開導日扇聖人の御指南に「信心修行浅深抄」と称するのがあります。御妙判を基に信心を初中後の三段階に分け、浅きより深きに至る信者の心得を説かれたもので、初門の信心前は自己中心で、謗法を慎み、朝夕勤行も怠らぬが、折伏教化を考えない段階、第二重の中信の信心前は、弘通のできる程度で、宗外に向かつての教化折伏はまだまだという段階、第三重の後信の信心前は、ご弘通第一、法華経の御ためなら身命財も惜しくないという捨身決定の信者の段階です。このように信心には深さのあることを知ってください。

# 12月のご奉公のすゝめ

今月は、令和六年度の弘通年度のはじまりの月ですが、先ずは、本年度なにごともなく無事にご奉公させていただけました御礼の言上させていただきます！

## 一、教化誓願のすゝめ

令和五年度の教化誓願二十五戸は成就させていただけましたが、未成就に終わってしまった方は、気持ちを新たにしてお教化成就を目指しましょう！

本年は、先住・井上御導師の御七回忌正当の年ですので一人一戸の報恩教化を成就させていただきます！

## 御教歌

講中をたがひにすゝめはげまして  
御恩報じの奉公をせよ

## 二、自宅の御宝前のお清め

今月は、御本尊・御尊像のお塵払いの月ですが、お塵払いの際には日ごろ行き届かない御宝前の箇所を念入りにお給仕させていただきます！

お迎えさせていただきます！

## 御教歌

仏前の 香花灯明ふき掃除  
すればわが身の福徳と成

## 三、年末御礼朝参詣週間

二十五日から三十一日までは、年末お礼朝参詣週間です。今年一年のご奉公成就と一年間を無事息災に過ごさせていただいた御礼の参詣と、御礼言上をさせていただきます！

## 御教歌

信心の あるとなしとは参詣を  
するとせんとに 顕れにけり

## 四、寒参詣について

一月六日より、恒例の「寒参詣」が二月四日まで一ヶ月間実施されます。未だコロナ禍のなかですが、「コロナ」に負けていては功徳は積ませていただけません。

「一年の計は寒参詣にあり」と、昔から教えていただきますから、感染防止と体調には充分注意してお参詣させていただきます！

記

◎開門 六時

◎一座目御法門 六時半

◎二座目御法門 七時四十五分

※寒参詣中は昨年と同様に「寒供養」があります。また、寒供養の「申込み書」には「ご先祖名」を記入してください。なお、ご回向の言上は希望の日にちにさせていただきます。

## 五、本山お初灯明料のすゝめ

新年のはじめに本山の「お祖師さま」へ奉納させていただく「本山初灯明料」の功徳は一粒万倍となり、我が身に返ってきます。昨年より多く奉納させていただきましたことが、ご利益をいただく一番の秘訣です。

役中さんは、部内教区内の奉納額が昨年を上まわるよう、ご披露の徹底をなさって下さい。

## 御教歌

わするなよ まかぬたねなら はえもせず  
まいたたねなら はえるものぞと

御導師動静

2日 高崎 護念寺総講  
 6・7日 京都 宗務本庁  
 10日 前橋 本勝寺・布教区総会  
 14・15日 京都 宗務本庁  
 20日 京都 宗務本庁  
 24日 高崎 護念寺総講

教務部出張

7日 高崎 護念寺総講 宇清師  
 24日 高崎 護念寺総講 宇清師

甲御講

3日 14時半 陽北・松原 大槻清子(陽)  
 4日 13時 市外合同 角田和道(陽)  
 8日 14時 清原・城東 青木昭(陽)  
 12日 11時 石宮 谷田部いつ子(宇)  
 16日 14時 江曾島・西原 石川正宏(宇)

受持御導師

4日 10時半 結城 木暮紀子  
 8日 11時 江曾島① 沼尾正稔  
 併修 十三回忌  
 9日 13時 芳賀南 宇津木由美  
 18日 11時 矢板 澤村まつ子  
 19日 11時 江曾島② 福田時子  
 20日 13時 陽北 住吉喜法  
 22日 14時 高根沢 高田三樹男

受持宇清師

6日 11時 今光 早野敏樹  
 8日 1時 清原 伊澤ゆう子  
 9日 2時 松原 入江康友  
 14日 12時 那須 渡部貢  
 15日 11時 鹿沼 前川長司  
 18日 11時 石宮 保木正学  
 18日 2時 西原 清水恭子

受持陽哲師

6日 10時 壬生 坂田梅二  
 19日 14時 城東 阿部勇次郎

御回向

2日 10時半 石宮 佐藤智洋(宇)  
 本堂回向・一周忌  
 3日 10時半 江曾島① 山崎英己(住)  
 本堂回向・一周忌  
 3日 13時 松原 越智園乃江(住)  
 本堂回向・一周忌  
 10日 2時 松原 栗山和男(宇)  
 本堂回向・三回忌  
 10日 10時半 鹿沼 近藤進(宇)  
 自宅回向・三回忌

令和6年度総祈願  
日宇上人御7回忌正当  
次世代信徒育成の年

菩薩心涵養・報恩お供え教化一人一戸成就

事務局新体制組織力強化・教養各会内容充実

三大奉納金・法城護持ご有志全信徒随喜奉納

○令和六年度

総祈願の解説

「日宇上人御七回忌正当

次世代信徒育成の年」

(総論)

本年は、先住井上日宇導師の御七回忌ご正当の年です。ご存命に「三級寺院に戻さなければ、死んでも死にきれない」と仰ってましたが、皆さんのご尽力により、昨年中に「正宗徒三百戸」を達成することができました。ご信者の皆さまのご尽力に心より感謝申しあげます。

さて、本年は、未来の常照寺を次世代に伝えるべく、後継者育成に勤めさせていただく年です！

●第一項解説

佛立宗のご信者とならせていただいた方には、み教え通りの素直正直な口唱修行に徹し、ご利益をいただくことが大切です。そして、さらに大切なのは、その有り難いご信心を人さまにも勧める菩薩心を涵養することです。

自分や家族の幸せも大切ですが、そこから一歩前進して、人さまにも幸せになっていただくよう菩薩行に気張らせていただきますしよう！

御教歌

菩薩とは 在家出家にかはらず

人を助くる 人をいふ也

○『報恩お供え教化一人一戸成就』

本門佛立宗のご信心は、今さら申すまでもありませんが、どこまで行っても菩薩道の実践をさせていただく宗旨です。菩薩とは「他人の受苦を悲しんで化他の行をなす」と教えていただくように、人さまの喜びを我が喜びとして受け取り、人さまの苦しみを我が苦しみとして、お教化のご奉公に励むことです。

このように「人さまにも良くなっていただきたい」と菩薩心を涵養させることこそ大切で、それが取りも直さず、我が身の計り知れない「罪障消滅」がさせていただけなのです。本年は、先住・井上日宇導師の御七回忌ご正当の年です。

報恩ご奉公のまことを尽くすべく一人一戸(いちにんいつこ)の報恩教化を是が非で成就させていただきましよう！

御教歌

教化せし 功德はわれに帰るとよ

かれもよろこび われもよろこぶ

●第二項解説

○『事務局新体制組織力強化』

本年より、今光教区の角田和道氏が事務局長としてご奉公くだされ、事務局も新たに各部署、新体制のもと組織力の強化を図っていきま

す。乗泉寺の先住・川口日智上人は、ご存命中「ひとりのご信者が十歩進むより、十人のご信者が一歩づつ着実に進んでいくのが、ご奉公の基本です」とことある毎に仰ってました。

今回の組織力強化とは、次世代の後継者を育成させていただくことを念頭にいれ、当山の未来づくりを教講異体同心で進めていくことで

御教歌

むかしより 味方のころろ そろはずは 軍に勝ちし 事はあらしな

○『教養各会内容充実』

婦人会・壮年会をはじめ、教養各会は常照寺にとって重要な組織です。

したがって、教養各会の実働会員を増やすこと、後継者をお育てすることが大切です。

本年は各教養会の会員増加に重点を置いて寺内行事のご奉公を率先垂範するご奉公を推進させていただきます。

また、本年より「あゆみ会」を発足させていた

だきました、「あゆみ会」発足の狙いはくんげ会の活性化にあります。つまり、親子共とも、家族ぐるみのご信心が

お子さん達が、お寺に慣れ親しむことができるよう、そのような「お寺づくり」を、ご信者一人ひとりが心がけましょう！

御教歌

子孫には 信心のこせ かねたためて 地獄にへおとす 様な事すな

●第三項解説

○三大奉納金・法城護持と有志

全信徒随喜奉納

宗風十項目の第六項(喜捨)には、

「喜んですれば其の功德、虚空に及び十方にあまねし」のみ教えに則り、磨けば光りを増す喜捨の行に徹し、我執を超え、労をいとわぬ信心前を錬磨する。」とあります。

御指南に

「喜んで参詣し、喜んで聴聞し、喜んで身を勞し、喜んで供養をなし等、其の行者の志の厚薄にありて、其の財の多少によらず。唯御法の為にをします、喜んですれば其の功德虚空に及び十方にあまねしならば、飲んでいささか也とも供養せば財の多少によらざる也。」

『此三冊 中』 扇全十一卷三一五頁

○三大奉納金とは

本山への奉納金は、一月が「本月初灯明料」、七月が「宗門総回向料」、十月が「高祖会全国奉納金」です。

佛立信徒であるお互いは、以上の三大奉納金を真ごころ込めて随喜奉納させていただきますことが大切です。

この本山への奉納金に対する心構えは、毎日

のお初穂信心が大切で、そのためには自宅の御宝前に「功德箱」を置かせていただくこと！

いざ、奉納の時期が来て、お財布からお金を出すのではなく、功德箱のなかのお初穂から前年よりも千円・二千円でも多く随喜奉納することが、財のご利益を頂戴する秘訣になります。

佛立第十七世講有石岡日養上人は、「モト(本山)を良くすること、根っこに肥やしをやり、枝葉が良くしげるようにすることが大切である」と常日ごろお話しされていました。

「時かぬ種は生えぬ」という諺がある通り、志を込めて昨年より、少しでも多く奉納させていただきますきましょう。

○法城護持と有志全信徒随喜奉納

これから先の「常照寺」を支えるのは若い世代の方がたです。

ご信者一人ひとりが、五年後の常照寺を見据えて、よくよく考えてみて下さい。人間も歳を取ると身体のあちこちが痛むのと同じで、お寺も人間と同じです。

全てのご信者さんがご利益をいただく、そのもとは何かと申せば、財の功德を積ませていただくことです。

法城護持のご有志は、ご信者一人ひとりの財のご利益をいただく絶好のチャンスです。

御教歌

いさゝかの 有志もだせぬ 手元にて 物見遊山は 何の事かい

◆百日参詣達成者(十一月二十日まで)

○今光教区

十一月十二日

鳩山 由美

◆二百日参詣達成者(十一月二十日まで)

○清原教区

十一月二十日

青木 昭

◆三百日参詣達成者(十一月二十日まで)

○江曾島教区二部

十月二十二日

安保 孝

○陽北教区

十月二十七日

中村 喜全

○城東教区一部

十月二十七日

阿部軍太郎

○城東教区二部

十月二十六日

大森 久子

○陽北教区

十一月五日

五味渕一夫  
(計5名)

### 令和五年十二月行事予定

一日 十時半 月始祈願総講

(当番―江曾島一・石宮・今光)

// // 十二時五十分 役中会

終了後に「令和六年度・新局長室会議」

三日 七時半 男子信徒弘通促進助行

(晨朝勤行に併せて)

三日 十時 関越布教区壮年会連絡  
会議(桐生・常薫寺)

十日 七時半 女子信徒弘通促進助行  
(晨朝勤行時に併せて)

十一時 関越布教区総会  
前橋・本勝寺

十三日 十時半 高祖日蓮大士ご命日総講  
(当番―城東・清原・壬生)

御総講に引き続き「弘通促進助行」

十七日 七時半 男子信徒弘通促進助行  
(晨朝勤行時に併せて)

十時半 開導日扇聖人ご命日総講  
(当番―西原・松原・高根沢)

廿五日、卅一日 年末御礼朝参詣週間  
十時半 門祖日隆大聖人ご命日総講

十二時四十分 局長室会議  
新旧役中合同会議

廿七日 十五時 餅米洗米

廿八日 九時 御鏡餅調整

// // 九時半 御内陣清掃

廿九日 九時〜十時

壮年会・婦人会合同年末大掃除

卅一日 十六時 年末御礼お看経

十七時 清掃(ご奉公)

○年始の行事予定

元旦 六時 初お看経

三日 十時半 初総講・祝杯式

終了後に「信詮会」

十二日 十時半 開講記念総講

併修 高祖日蓮大士ご命日総講  
令和六年度弘通立誓式

令和六年度弘通請願目標

教化 二十五戸

助行 二千回

常講願主増加 二十戸

正宗徒増加 二十戸

○令和六年度の常照寺三大会

門祖会 四月二十一日

開導会 七月二十一日

高祖会 十月二十日

○令和六年度の他寺院参詣

木更津・妙蓮寺門祖会 三月十日

栃木・常法寺 三月十七日(支庁巡教)

前橋・本勝寺 四月十四日(法類巡教)

桐生・常薫寺 六月九日(三回忌)

○年末のお掃除について

十二月二十九日 午前九時〜十時

壮年会・婦人会合同年末大掃除(除草・境

内清掃・本堂・講堂清掃)をさせていただきます、

新しい気持ちで新年をお迎えいたしましょう。

◎お早めにご奉納・ご提出願います。

お炭代奉納袋・寒供養奉納袋

(12/25締切)

新年度教化発願書・授級褒賞調査書

(12/25締切)

本山初灯明料・常照寺初灯明料・初御供米料

(1/20締切)

令和六年度照寺事務局役員名簿

○事務局長

角田和道

次長

中島正清

次長

石川英雄

次長

清澤修

○相談役

井上真

○会計監査

星川義明

○総務部

部長

清澤修

副部長

青木昭

(庶務・司会)

矢古宇真里子

〃

山本円

〃

内田明日香

○弘通部

弘通責任者

中島正清

部長

林弘

副部長

歌川昭夫

現勢課

清澤修

○儀式部

部長(学徒)

渡邊孝之

副部長

前川長司

儀式部(学徒)

卯月英雄

〃

安保養

○管理部

部長

石川英雄

〃

〃

防火責任者

卯月英雄

〃

岡田一男

石川正宏

○財務部

部長

安保養

副部長

中島恵子

○教養部

部長

山本幸太

副部長

大槻清子

◎壮年会長

卯月英雄

◎婦人会長

佐々木清子

◎あゆみ会長

山本幸太

◎くんげ会長

大槻清子

副会長

大森隆行

○わかば会(接待部)

部長

沼尾礼子

副部長

西間木美子

大槻清子

清水恭子

鳩山由美

藤田里恵

嶋彩香

山本円

○広報企画部

部長

青木昭

◎ホームページ課

山本幸太

◎弘報課

濱口 信明

内田明日香

※局長室会議と役中会について

今月より、令和六年度の弘通年度が始まります。

つきましては、今月より「局長室会議」のメンバーは、局長・次長・相談役をはじめ、各部署の部長責任者で、「次世代の後継者発掘」を今後どのように進めていくかを考え、役中会にて皆さまにその方針をご披露させていただきます。

○遠歎寺講有巡教団参(11/12)

「遠歎寺講有巡教」団参は、十一月十二日、ご奉公者八名を含む十八名で、ご参詣させていただきました。



御法門を拝まれる御講有上人

御教歌

御利益のあまりふしぎのうれしさに  
うそでないかとうたがはれけり

